

第124回経営協議会議事要録

日 時 令和6年5月24日（金）13時30分～15時10分

会 場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者 (委員)

長田・進藤・山本・山中・窪田・野田・吉岡・佐々木 各委員
中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内 各理事

(列席者)

小林理事、齋藤監事、八巻監事、岩崎副学長
志村・深澤・種田・壬生・雨宮・望月・小谷・石原 各部長、
植村・望月・齋藤・岩本・大坂・大森・千野 各課長

議事要録確認

第123回（R6.3.22開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

1 会計規則の一部改正（案）について

市川理事から、資料1により、随意契約に加えて一般競争契約・指名競争契約に係る情報についても公表するため、標記規則の一部を改正にすることについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 令和7年度国立大学法人等施設整備概算要求事業等（案）について

市川理事から、資料2（資料一部修正あり）により、標記概算要求事業を選定したこと及び要求順位については学長一任としたいことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 就業規則の一部改正（案）について

片田理事から、資料3により、初期救急手当・医師夜勤手当の新設及び当直手当・オンコール手当の見直し等を行うため、標記規則の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1 令和5年度本学ステークホルダーミーティングの実施結果報告について

黒澤理事から、資料4により、標記ミーティングの実施結果や対応等について報告があった。

2 中央教育審議会大学分科会「高等教育の在り方に関する特別部会」での発表内容について

中村学長から、資料5により、標記部会の目的などの概要について説明があり、併せて「地域における大学の在り方」をテーマに同部会（R6.4.26開催）で発表した内容について報告があった。

その他

1 片田理事から、机上配付資料により、池田高等教育局長と永田国大協会長の対談概要（朝日新聞 R6.5.14掲載）及び国立大学協会関東・甲信越地区支部会議（R6.5.14開催）の文部科学省説明資料について説明があった。

次回会議 令和6年6月19日（水）13時30分から開催することを確認した。

学外委員からの意見・質問

審議事項

2 令和7年度国立大学法人等施設整備概算要求事業等（案）について

（山本委員）

- ・近々に国大協から出される声明と合わせ、山梨大学の厳しい経営状況等について様々な機会を通じ発言して頂きたい。

（片田理事）

- ・中村学長が中央教育審議会など様々な機会を通じ訴えているので、ご支援を頂きたい。

（市川理事）

- ・本学をよく知ってもらえるよう地域の方にしっかりと伝え、協力を仰いでいきたい。

（中村学長）

- ・今後も様々な機会を通じ、本学の現状を説明していきたい。

3 就業規則の一部改正（案）について

（長田委員）

- ・初期救急医療センターを設置いただき、感謝申し上げます。
- ・同センターにおいて新たな業務に従事する職員には適切な対価が必要と考える。

（野田委員）

- ・本センターの整備はありがたいことであり、持続可能なシステムとしていかなければならない。
- ・独居老人などの生活弱者がしっかりと受診できるよう支援が必要ではないか。
- ・土日祝日に勤務する看護師に対する手当にはインセンティブを設けるべきではないか。
- ・医学生や看護学生が同センターで電話オペレーターを務めているが、心のケアが必要ではないか。

（木内理事）

- ・看護師への手当のインセンティブに関しては内容を精査し、適切に対応していきたい。
- ・電話オペレーターを担う学生に関しては、医師や看護師がバックアップできる体制となっているが引き続き適切に対応していきたい。

（進藤委員）

- ・看護師は全日との記載だが、平日、休日、祝日で手当の差がないのか。
- ・眼科のみが全日も含め区分されている理由はなぜか。

（木内理事）

- ・看護師に平日、休日、祝日で手当に差を設けていないことについて精査し適切に対応していきたい。
- ・眼科医師の全日区分はオンコールに対する手当分である。

（窪田委員）

- ・高齢者の買い物や病院へのタクシー移動については、甲府市内において平日に実証実験を行っている。

報告事項

2 中央教育審議会大学分科会「高等教育の在り方に関する特別部会」での発表内容について

(吉岡委員)

- ・山梨県は女性の流出率が高いことなどから、女性が活躍できる場を地域で創出できるような対策等を山梨大学がリードしながら作り上げて頂きたい。

(山本委員)

- ・アライアンスの実績を有する山梨大学が地域医療圏構想の理想的なモデルを作って頂きたい。

(進藤委員)

- ・山梨県がグランドデザインを示し、それと合致させていくような対応が必要ではないか。

(長田委員)

- ・山梨県立大学を含めた県内大学が連携しての地域人材養成、山梨県を支えていく人材づくりなどは大きな課題であり、非常に重要なことでもあるため知事にも共有させていただく。

(佐々木委員)

- ・地元の企業がもっと魅力的になって地域全体を活性化していくことが大切であるのではないか。

(山中委員)

- ・スポーツと同様に子どもたちの人間力を高めていく教育の必要性が大学でも大切になってきているのではないか。

(野田委員)

- ・定年退職された高齢者等が活躍できるような場（成功例）を山梨大学が中心となって作り上げて頂きたい。

(中村学長)

- ・様々な機会を通じ、大学の実情を知ってもらうための情報発信を行い、皆様のご意見を伺っていきたい。